

このページは読み上げ機能に一部対応していない場合があります。  
ご不明な点につきましては、直接学校までお問い合わせください。

## 令和3年度 特別の教育課程の実施状況等について

千葉県八千代市		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
八千代市立八千代台西小学校	八千代市教育委員会	公立

### 1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表	学校関係者評価結果の公表
八千代市立八千代台西小学校	<a href="https://www.yachiyo.ed.jp/eyachinisi/gaiyo/hyouka/">https://www.yachiyo.ed.jp/eyachinisi/gaiyo/hyouka/</a>	

### 2. 特別の教育課程の内容

#### (1) 特別の教育課程の概要

これからの時代において必須となるグローバルな視野を持った人材を育成するため、ESD教育を推進する。その際、SDGsの17の目標を教育活動に組み入れ教育課程を編成していく。そのため、第1・2学年は生活科から17時間、音楽科から17（2学年は18）時間を言語活動科に充てる。

#### (2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

本校からは、都内へのアクセスも便利であり、商業施設が複数あり、その周辺には住宅が広がっている。日本初の大規模住宅団地として発展した地域の学校である。

児童が生きる社会を見据えた時、高いコミュニケーション能力や異文化理解能力が求められる。このような状況を踏まえると、「外国語（言語活動科）活動」を第1学年から実施し、コミュニケーション能力や異文化への児童の興味・関心、能力を上げていくことが求められていると捉えている。本校では、96%以上の児童が「外国語（言語活動科）活動」の授業を楽しみにしているというアンケート結果が出ている。また、保護者の関心も高い。

これまでも、さまざまな学校行事や児童の安全指導等において地域と連携して活動を行ってきた。特別の教育課程を編成して教育を実施するにあたり、その連携を広げ、学習支援活動として、地域住民から「外国語（言語活動科）活動」を支援するボランティアの協力を得ていく。さらに校内の環境整備や児童の安全確保、学校行事の運営支援等、学校と家庭、地域が一体となって地域ぐるみで児童を育てる体制をより一層構築していく。

今後も学校の特色を生かし「外国語（言語活動科）活動」の充実を図ることは、児童の能力を高め、市内各校への成果の広がりが期待できると考えている。

(3) 特例の適用開始日

平成25年4月1日

平成30年4月1日変更

(4) 取組の期間

令和3年4月1日から令和5年3月31日まで

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ・計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

特記事項なし

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ・実施している
- ・実施していない

<特記事項>

学校ホームページ，学校・学級だより，学校評議員会などを利用して，保護者及び地域住民へ取組の状況を発信している。

4. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係

本校では、「未来に生きる体力，学力，耐力をもった子ども」の育成を学校目標として，特に育成を目指す資質・能力を「わかりやすく相手に伝える力」と位置づけている。生活科，総合的な学習の時間を要として，教育活動全体を通して，わかりやすく相手に伝える力を育成し，「外国語（言語活動科）活動」の充実を図っている。継続した活動の結果，言語や文化の異なる人と協働できる児童の育成につながっている。

今後は，ICT 機器の積極的な活用や専門性を高めるための研修会のさらなる充実が望まれる。

## (2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

学校教育法等で示された内容を踏まえ、以下のとおり、児童への教育上の配慮を実施した。

- ア 外国語を用いて、コミュニケーションを図る楽しさを体験できるようにする。
- イ 外国語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気づけるようにする。
- ウ 日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知り、多様なものの見方や考え方があることを知る。
- エ 音楽科の鑑賞「諸外国のわらべうたやあそびうた」「行進曲や踊りの音楽など 身体反応の快さを感じ取りやすい音楽」「諸外国に伝わる民謡など」について、英語の歌やリズムのある歌等で指導した。

## 5. 課題の改善のための取組の方向性

- ・全児童が「言語活動科」を楽しみにできた。
- ・外国人による発音を聞いたり、映像を見たりできたことで、児童の意欲が高まった。
- ・学校評価アンケートより、児童の約96%が外国語の授業を楽しみにしていると答え関心が深まった。また保護者の約96%が外国語活動を通して、将来を見据えた教育活動の充実を期待をもっていることがわかった。
- ・外国語活動助手と担任と打ち合わせをする時間を確保する。
- ・学年間の系統性を明らかにする。
- ・外国語教育の専門性を高める職員研修の充実。
- ・学校評価項目に「言語活動科」の項目を加え、授業改善に努める。